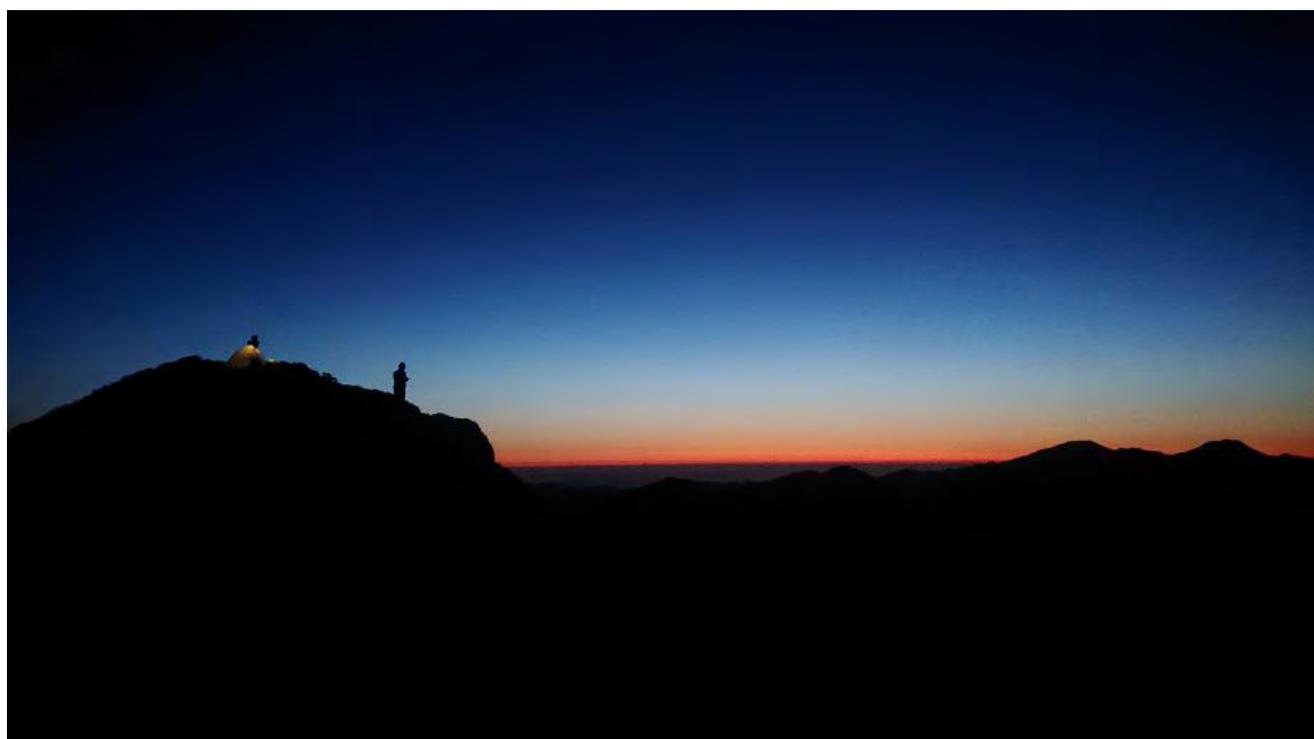


# せせらぎ

No. 417



滋賀県勤労者山岳連盟

2024年7月

湖南岳友会

## 目次

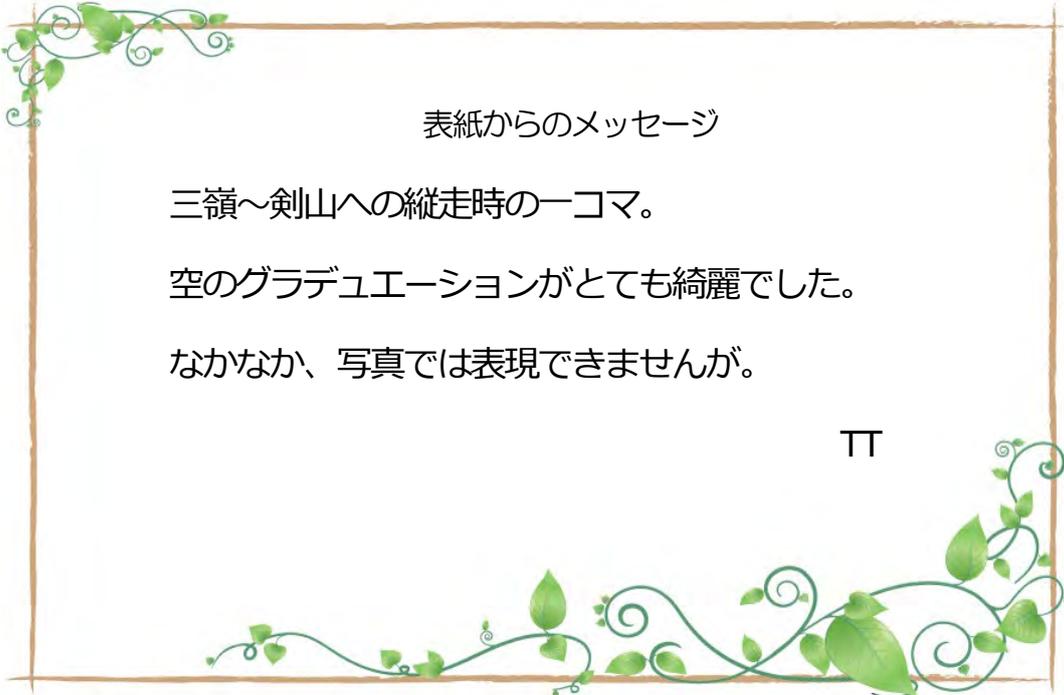
---

●表紙からのメッセージ .....	P 1
●リレーエッセイ 【私のひとりごと】 .....	P 2
●5月例会山行 【百里ヶ岳】 .....	P 3
●6月例会山行 【清掃登山 城山～タムシバ山】 .....	雨天中止
●6月例会山行 【粉糠山】 .....	雨天中止
●7月例会山行案内 【武奈ヶ岳(歩荷訓練)】 .....	P 5
●7月例会山行案内 【聖岳～光岳 縦走】 .....	P 7
●会員山行記録(5月) .....	P 8
●5月度定例会議 議事録 .....	P 9
●お知らせ .....	P 10

## 今月の予定

---

- 7月6日(土) 定例会議 19:00～ コミセンやす
- 7月7日(日) 例会山行【武奈ヶ岳(歩荷訓練)】 申込締切 6月28日(金)
- 7月12日(金)～15日(日) 例会山行【聖岳～光岳 縦走】 申込締切 6月29日(土)



### 表紙からのメッセージ

三嶺～剣山への縦走時の一コマ。

空のグラデュエーションがとても綺麗でした。

なかなか、写真では表現できませんが。

TT

私のひとりごと

## 異常気象・今昔

今年は夏になる前、3月のうちに、モンベルの「サンブロックアンブレラ」を入手しておきました。気候変動なんでしょう、夏の高温化は、とどまるところを知りません。毎年毎年、“観測史上最高”のフレーズが繰り返されます。もはや日本は「熱帯」なのかもしれません。



昨年のところでは、通勤で道行く人を見ていると、明らかに男性でも日傘をさすのが普通になったことを体感していました。しかし去年は、そう思った時には、すでにモンベル日傘は完売状態。やむなく、雨傘を使っていました。

今年も、6月に入ると早速、最高気温30℃を超える日々がスタート。いよいよモンベル日傘の出番です。

使ってみると、なんとも快適な空間……。炎天下のじりつく直射日光がバリアされ、日陰に居続けている状態……。モンベルのものは、シルバーのルックに、内面は輻射紫外線を防ぐ黒色コート。さすが雨傘よりも、満足度が高い逸品です。

しかし考えてみると、ちょっと前まで、自分が日傘を使うなんて思ってもいませんでした。昭和チックな美白マダムイメージから、日傘は、日焼けを避けたい女性の肌ケアツールとっていました。もちろん男でも、日焼け防止のための日傘使用という人もいるかもしれませんが、自分はただただ燃える太陽に耐えかねてのこと。

あらためて思うのは、気が付くと昔と今では常識が変わるという話です。去年は、部活帰りの女子中学生が路上で倒れて亡くなるという事故もありました。あまりの高温に午前の部活を切りあげての帰宅途中だったとのことでした。

昔の部活では、水を飲むことさえ禁止というルールがまかり通っていましたが、「忍耐力をつける」とか「根性を鍛える」とかいう精神論は、私の時代でも当たり前で唱えられていたことを思い出します。

これは真に、今の時代、“不適切にもほどがある”ですね。

いよいよ、これから夏山シーズンになりますが、皆さま、十分に水分補給のもと、熱中症に注意して山行をお楽しみください。

T.M

## 例会山行報告

# 百里ヶ岳

報告:KY

【日時】2024年5月26日(日) 晴 (山頂付近は少し風あり)

【参加者】10名

【コースタイム】野洲駅6時30分発→百里ヶ岳登山口8時10分→シチクレ峠9時35分→頂上・根来坂分岐9時45分→頂上10時20分→頂上・根来坂分岐10時50分→根来坂11時25分(昼食)→百里ヶ岳登山口13時30分→野洲駅15時30分着

朽木から、離合が出来そうにない道をこれでもかと奥へ分け入る。それでも次から次へと集落が現れ、イルミネーションの点いたコテージのような建物も現れる。こんな山奥にと、不思議な気さえする道中を、楽しみながら登山口へ

長い百里新道の登りが続くが、ブナ林の緑に癒されながら登る。春にはオオイワカガミやトクカワソウを楽しむことも出来るらしい。シチクレ峠からは百里ヶ岳を望むことが出来る。

美しいブナ林を抜けると一等三角点の山頂が現れる。山頂直下は少し風があり肌寒く感じた。

下山も、ブナ林を楽しみながら根来坂峠へ着き、ゆっくりと昼食を摂る。

峠からは高島トレイルと別れ、鯖街道を通過して下山する。若狭湾の鯖を京まで運んだ道「京は遠ても十八里」と歌いながら寝ずに歩きとおしたらしい。

今回のコースは全体に歩きやすく、美しい緑と、徳川家康や明智光秀も越えたといわれる歴史ある峠や、鯖街道などを楽しめる良いハイキングコースだと思った。

### 【感想】

山笑う頃、楽しい仲間と楽しい時間を過ごせたこと、とても幸せです



### 【感想】

数々の思い出がのこる百里ヶ岳を久しぶりに訪れた。

深いブナの森は変わらず爽やかな風が流れ 暑さを流してくれる。

古道に残る根来坂峠(ねごりざかとうげ) 鯖を運ぶ人々と同じようにお昼休憩。

数年をあけての百里は何度でも登りたい山のひとつである。

### 【感想】

少し風が強かったのですが逆に発汗をおさえられ快適な尾根歩き

また、新録のブナ林の連続に癒されました



**【感想】**

百里ヶ岳は久しぶりです、新緑のブナ林を歩くのは気持ち良かったです



**【感想】**

新緑なごりのまばゆさを感じながら歩く山並みの景色は最高ですね  
頂上から百里の遥か日本海まで見えると云うが、想像してみるのも楽しい

**【感想】**

ブナなどのきれいな新緑を楽しむことができました。

イワカガミ(ネット情報ではオオイワカガミかも?)とクワカソウは時期が遅かったので、咲いている時期にまた行きたいと思いました。紅葉の時期もきれいそうです。



**【感想】**

山道が乾いていたせいか久しぶりに、粘土質でない山道をサクサクした感じで歩きました。

そのお陰で急登になっても歩いていけば行けるだろう!の気分?  
イワカガミの群生の深い緑が美しく力強かったです。

**【感想】**

久しぶりの例会、お天気も良く、ワイワイ山を歩くのはとても楽しかったです。ブナの森、緑もきれいで、癒されました。また、よろしくお願いします。



## 例会山行

### 武奈ヶ岳(歩荷訓練)

YM

夏山に向けての体力づくり！歩荷訓練です。

荷物の重さは図りませんので、ご自身の体力や今後の目標に合わせて設定してください。  
気温がぐっと上がり暑さが厳しい場合は、武奈ヶ岳まで行かず、引き返します。

《日 程》 7月7日(日)

《集合場所》 野洲駅 6:10 集合

《コース》

イン谷 ⇒ 大山口 ⇒ 青ガレ ⇒ 金糞峠 ⇒ 金糞峠西側下の分岐 ⇒ 上林新道四辻-  
⇒ 中峠 ⇒ コヤマノ岳 ⇒ パノラマコース分岐 ⇒ コヤマノ分岐 ⇒ 11:15 武奈ヶ岳  
⇒ 細川尾根分岐 ⇒ 細川越 ⇒ 広谷 ⇒ イブルキノコバ ⇒ 八雲ヶ原 ⇒ 比良ロッジ跡  
⇒ 北比良峠 ⇒ 神璽谷道下降点 ⇒ カモンカ台 ⇒ 大山口 ⇒ 駐車場

《装備》

歩荷用荷物、地図、コンパス、水筒、昼食、行動食、非常食、ヘッドランプ、雨具、、テント一式、  
防寒着等

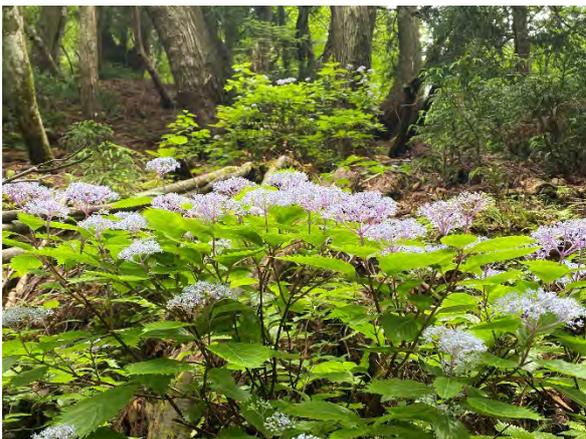
共同装備 ガス、コッフエル、ツェルト

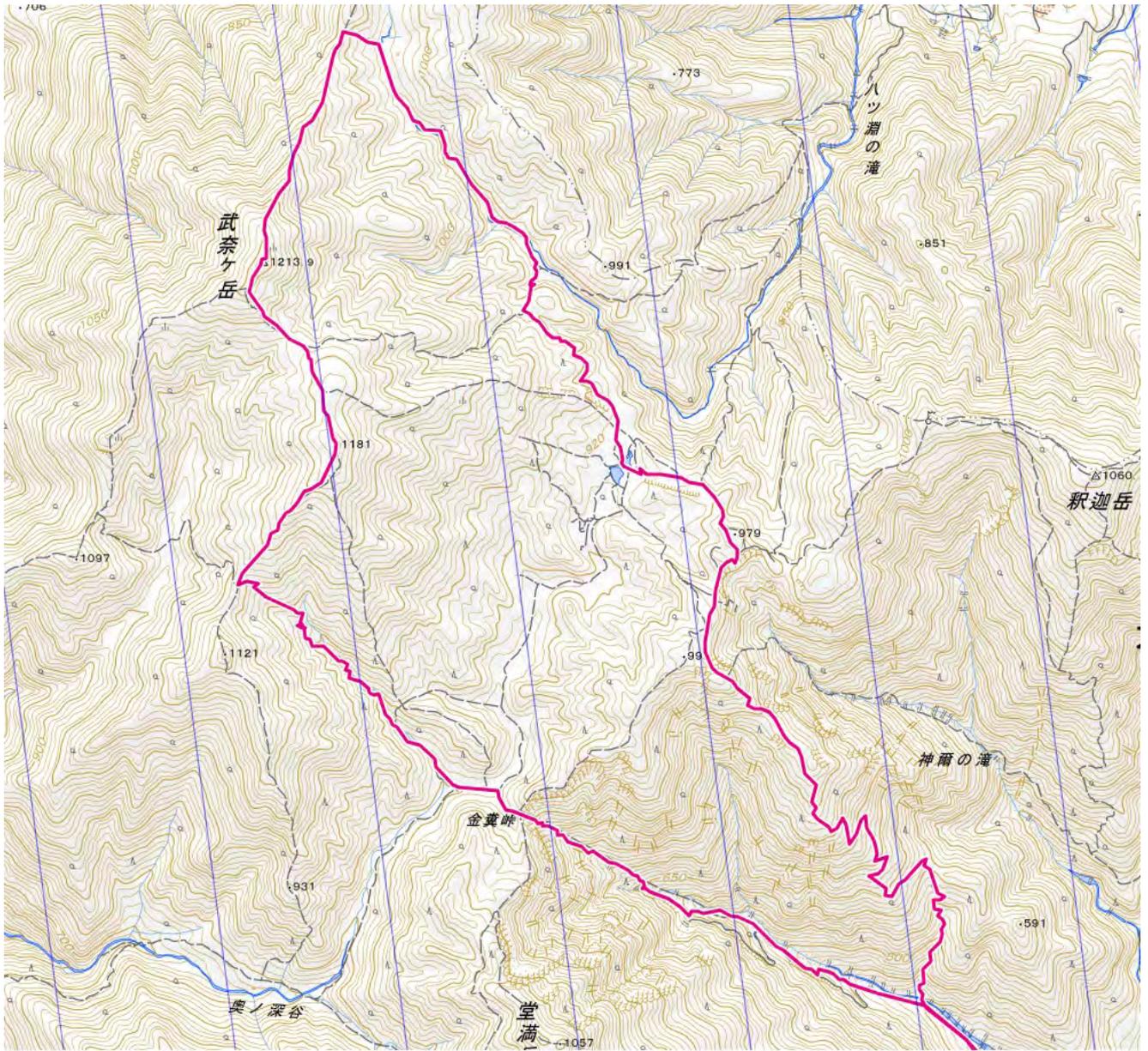
【申込】 6月28日(金)までにご連絡ください

申込時、車提供の有無をお知らせください。

車提供が少ない場合、お断りする場合があります。

SLは参加者から選出させていただきます。





7月例会山行

## 聖岳-光岳 縦走

南アルプス最南端 3000m 峰の聖岳とキラキラ Mt に長野県側から入山します。

便ヶ島の通行止めはギリギリ解除されそうなので縦走ルートを計画します。

※便ヶ島～西沢渡 間（聖岳方面）地質調査に伴う通行止め（2023年12月下旬～2024年7月中旬）

日時 7/12～15

コース DAY1 芝沢ゲート-易老渡-聖光小屋（泊）

DAY2 聖光小屋-西沢渡-薊畑-前聖岳-聖平小屋（泊）

DAY3 聖平小屋-茶臼岳-易老岳-イザルガ岳-光岳-光小屋（泊）

DAY4 光小屋-易老岳-易老渡-芝沢ゲート

装備 テント泊装備 ※小屋泊は各自予約お願いします。

連絡先

〆切 6/29

2024年5月山行記録

山行期間	山域・山名	例会 等	参加者数		ブ ロ グ 掲 載
			会 員	会 員 外	
5/2 ~ 5/3	至仏山		1	1	
5/3 ~ 5/5	三嶺～剣山	例会	4		○
5/3 ~ 5/5	大峰山系 弥山～山上ヶ岳		1		○
5/11	竜ヶ岳		1	1	
5/12	比叡山(無動寺谷～大比叡三角点～回峰道)		3		
5/15	百里ヶ岳		2		
5/19	比良山系 堂満岳		4		○
5/19	横山岳		2	2	
5/25	鈴鹿山系 高室山		1	県連	
5/26	百里ヶ岳		10	1	○
5/28	大文字山北面		1		

※ コース、人数等は、事前に提出された計画書に基づいて記載していますので、  
実際とは異なる場合もあります。

近郊の三上山、音羽山などの個人山行は、通常は記載しません。

複数の月にまたがる山行は、両方の月に掲載しています。